

時間：令和6年5月14日（火）15：45～17：00

場所：相模原城山高等学校会議室

【出席者】（以下敬称略）

学校運営協議会委員

大石 進	横浜リゾート&スポーツ専門学校校長
小玉 敏也	麻布大学教授
鈴木 満博	市立広陵小学校校長
小島 盛生	城山地区自治会連合会会長
高野 朝枝	城山公民館館長
石坂 智	相模川水系ダム管理事務所所長
伊藤 泰宏	学校法人岩崎学園マーケティング・教育事業創造本部本部長
岩村 卓也	相模原城山高等学校PTA会長
小松 巖	本校校長

本校職員

黒川 裕樹	副校長
小野 貴史	教頭
近藤 久美子	事務長
飯田 香代子	総括教諭（教務グループ グループリーダー）
上田 聡子	総括教諭（進路グループ グループリーダー）
近藤 尚	総括教諭（生活グループ グループリーダー）
茂木 拓郎	総括教諭（生徒会グループ グループリーダー）
好田 寛子	総括教諭（総務グループ グループリーダー）
新山 牧	教諭（記録：総務グループ）

【欠席者】

井上 成子	市立中沢中学校校長
後藤 南津恵	総括教諭（広報グループ グループリーダー）

1 開会のことば（副校長）

2 校長あいさつ

9 で詳しく話したいと考えている。

3 出席者紹介（自己紹介）

①学校運営協議会委員

②学校職員

4 本会の運用(好田)

P 1

年3回を予定している。＜第2回：文化祭一般公開日 第3回：検討中（年度末を予定）＞

5 会長・副会長選出

会長に大石 進氏また、副会長に小松 徹（本校校長）を選出した。

6 グランドデザイン・スクール・ポリシー(副校長)

グランドデザイン： P 2別紙のとおり

スクール・ポリシー： P 3昨年度スタート 変更はない。

7 学校教育計画 P 4、5

1. 学校のミッション： 昨年度から変更はない。

2. 学校教育目標： 昨年度から変更はない。

3. 計画策定時点での課題： 今年度新たにまとめた。

4. 4年間の目標と主な方策： 4年間の目標に変更はない。

目標達成に向けた主な方策は、具体的な形に修正した。

（全ての科目でプログラミング的な思考を意識した授業展開を行うとともに、公開研究授業を行う。）

8 令和5年度学校評価 P 6、7

3月21日にまとめたものである。

9 令和6年度学校目標 P 8

ベースは昨年度のものであり、大きく変更していない。特に、生徒の情報活用能力の育成に注力する。また多様性を認め、何かに特化するのではない普通の学校をめざす。

→職員には、職員会議資料で校長の今年度の指針は説明済みである。

10 本年度の各グループの取組について

教務：P10

○6月中3週間3名の教育実習生を受け入れ、実施した。

○後期から体育館改修工事のため、相模原総合高校体育館を借りて体育の授業等を行う予定である。

○新カリキュラム・新科目がスタートした。夏季集中講座も開講予定である。

進路：P11

○多様な進路希望に対してきめ細やかな指導をめざす。

○インターンシップ拠点校となっている。

生活：P12

○自転車を7割以上の生徒が利用するため、交通安全指導に力を入れている。

○サポートドックを利用し、必要な生徒にすばやく漏れなく対応する。

○中沢中学校との協働事業とした、スケアードストレイトを実施した。

生徒会：P13

○新たに今年度部活動顧問研修会で4日間の講義と実技研修会を実施予定である。(5/28、7/11、10/8、12/12)

広報：P14

○今年度力を入れているのは、ホームページ等の更新頻度を多くし、行事・催し・日常の教育活動等の情報を発信することである。

○情報設備・機器関係の管理も徹底をする。

総務：P15

○業務内容の防災訓練やD I G訓練において、地域と連携して何かできないか今年度検討している。

○今年度の卒業証書授与式は、体育館改修工事のため、パルテノン多摩で実施予定である。

11 質疑応答・提言

Q. P 8 等にあるプログラミング的思考に関して具体的に教えてほしい。

A. P16 参照。見通しを立てて、目標に向かって、簡単な問題→難しい問題スモールステップをめざすことである。評価は、授業評価等で行っている。

Q. 人権研修を教職員に行っているが、生徒に対してはどのように行っているのか。

地域のために動ける高校生を育てたいが、どのようなことを学ばせれば良いと考えるか。

A. 様々な教科の授業内で人権教育は扱っている。

ボランティア活動等を考えている。学校の教育力を内から外へ、外から内へ生かしたい。

Q. 情報活用能力の育成のみにとらわれないでほしい。コミュニケーション能力や、地域や周りの人との交流で育まれる能力があるはずである。

A. 情報活用能力とは、P16 を参照。4つの視点として、抽象化、順序化、最適化、一般化する力を養うことであるので、地域の教育力を生かしながら地域と関わりをもたせていきたい。

Q. 生徒指導の件数や、教育相談の件数について具体的に教えてほしい。

A. 特別指導件数は減っている。教育相談は、QRコードから予約が取れるようになった等の理由からか、増加している。

副校長：P16

DXハイスクール認定を受け、多くの予算が与えられた。PC教室等の整備を進める等していきたい。

12 閉会のことば(副校長)

以上